

# シグマ研究委員会

## 昭和58年度 第6回運営委員会議事録

**日 時** 昭和58年度11月18日（金） 13：30～17：30  
**場 所** 原研東海研 研2-221号室  
**出席者** 原田（委員長 原研），白方（動燃），梶山（東北大），中沢（東大炉），中嶋（法大），五十嵐，菊池，田中，松浦（原研）  
オブザーバ：鹿園，松本，水本，浅見（原研）

### 配布資料

1. 前回（58.10.21）議事録（案）
2. IAEA/NDS Meetings Planned for 1984
3. Consultants' Meeting on "Nuclear Data for Structural Materials", Participants, and Designating Member States and Organizations
4. 同上 Programme
5. OECD/NEA 核分裂生成物の収率と崩壊データ 専門家会議出席報告
6. NEANDC 24回会合関係
7. 第24回NEANDC会合のトピカルコンファレンス準備会報告
8. Twenty-Sixty Meeting on the NEA Committee on Reactor Physics
9. ガンマ線生成核データW.G.

### 議 事

1. 前回（58.10.21）議事録確認  
資料1により確認を行った。
2. 事務局報告
  - (1) 委員会旅費：旅費の使用状況について報告があり，残額が限界にきているので，今後の目処がつくまでWG会合の開催を見合せてもらうようにしたいとの説明があった。
  - (2) 今後の国際会合の予定について資料2により説明があった。

### 3. NEACRP 会合出席報告

白方氏から、資料 8 を用いて NEACRP の第 26 回会合について報告が行われた。とくに核データ及び NEANDC と関連の深い事項、JEF の現状、NEA データ・バンクの活動などを中心に説明があった。

### 4. Specialists' Meeting on Nuclear Data for Structural Materials 出席報告

浅見氏から、資料 3.4 により、会合の概要、トピックスなどを中心に報告が行われた。

### 5. 研究会準備状況

中沢氏から 11 月 30 日、12 月 1 日の両日行われる核データ研究会の実行委員会での準備状況について報告があった。また、浅見氏から出席予定者数などについての補足説明があった。

### 6. ガンマ線生成核データ WG 報告

専門部会活動状況の報告の一環として、水本氏からガンマ線生成核データ WG でのデータ評価作業の現状について資料 9 を用いて説明が行われた。

これに関連して、共鳴領域でのガンマ線生成データの扱い上の問題、報告書の進捗状況、ガス生成核データサブ WG の作業との関係などについて討論が行われた。

### 7. 学会特別会合のテーマ

原子力学会の春の年会における核データ・炉物理合同特別会合のテーマとして NEACRP 第 26 回会合、NEANDC 第 24 回会合の報告を採り挙げることにした。

### 8. NEANDC 第 24 回会合関係

五十嵐氏から、資料 6 によりオブザーバの候補者について提案があり、相山氏（東北大）の代りに関（泰）氏（原研）を追加することに了承された。また、資料 6,7 により、トピカルコンファレンスの準備状況について説明があった。とくに、先に行われた BNL 会議（資料 5）での討論と重複しないように行うことから、長寿命のアクチニド核からの FP、 $^{232}\text{Th}$  の FP 収率などを採り挙げることにしたとのことであった。

## 9. JENDL-3 作成関係

JENDL-3 用データ評価作業の関連の報告として、浅見氏から、最近行われた核データ専門部会内のWGでの評価作業の進め方に関する議論について説明があった。また、これに関する討議を、近く、核データ専門部会の全体会合でも行うとの話があった。これらに関連して各人の評価作業の成果をどう表示するか等の討議があった。

## 10. Neutron Nuclear Data Evaluation Newsletter の受取人の交代について

山室氏 (NAIG) から北沢氏 (東工大) に、また、山本氏又は関 (雄) 氏 (ともに FBEC) から誰かに交代することが提案され、五十嵐氏に一任することにした。

## 11. その他

- (1) 原田氏から INDC 主催の Nuclear Safety 核データに関する専門家会議についての返事を年内にしなければならないので意見があったら出して欲しいとの要請があった。
- (2) 原田氏から、研究会の報告書を今後は英文にしたらどうかとの提案があった。
- (3) 五十嵐氏から、運営委を強化するためにメンバーの追加をしたいとの提案があった。

次回は、1月20日 (金) に東京本部で行う予定。